

当院でご加療中の方へ

研究課題「活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)凝固波形パターンの臨床的意義の解析」について

当院では患者さんから採取させて頂いた検体を使用して、以下に挙げるような解析を行っています。

【研究課題】

活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) 凝固波形パターンの臨床的意義の解析

【研究機関名及び研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 静岡済生会総合病院 血液内科

研究責任者 医長 海老澤和俊

担当業務 データの保管・管理、検査結果の解析、統計解析

【研究期間】

倫理委員会承認日より令和 12 年 5 月 30 日まで

【対象となる方】

令和 6 年 6 月 1 日以降に当院にて APTT の検査を実施した患者様(入院、外来問わず)

【研究の目的】

活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) は血の出やすさを測定する凝固系の検査における必須の項目の 1 つで、血友病をはじめとする出血性疾患のスクリーニングとして用いられるだけではなく、ヘパリンを代表とする抗凝固薬の副作用をモニタリングする目的で幅広く用いられています。しかし、ループスアンチコアグラント (LA) という物質が何らかの理由で体内に存在する場合には、APTT の検査は正しく行えないことがあり、実際には正常なのに著しい高値で出てしまうことがあります。これは急を要する対応が必要なケース等では大きな問題となるケースがあり、APTT 高値の患者さんから、LA の存在を早期に同定することは大きな臨床的意義があります。

APTT の測定時にある一定の曲線が得られるのですが、この曲線そのものは実臨床上用いられていないのが現状です。そこで、本研究はその曲線の波形を解析し、LA をはじめとするさまざまな病態に特徴的な波形パターンを同定したうえで、実臨床に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、当院倫理委員会の承認を受けて行うものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査、骨髄検査、リンパ節検

体、造血器疾患の病変を含む胸水、腹水やその他の手術検体などのデータに加え、自動分析装置を用いてこれまでに得られた凝固波形のデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当院において管理責任者が、施錠を受けた部屋で厳重に保管します。必要な場合には、当院においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

★この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会、学術誌等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

本研究に関わる資金提供はございません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2025 年 5 月

【問い合わせ先】

静岡済生会総合病院 血液内科 医長 海老澤和俊

電話：054-285-6171

Eメールでのお問い合わせ：・・・・・k181251●siz.saiseikai.or.jp
(●を@にしてください)